

## 第20回 医療・介護等分野ロボット実用化 ワーキンググループのご案内



「あいちロボット産業クラスター推進協議会」では、産学行政が連携してロボットの新技术・新製品を創出する活動を行っています。「医療・介護等分野ロボット実用化ワーキンググループ」では、医療・介護の現場や生活の場で活用するロボットの開発・実用化を促進する活動を進めており、この度、第20回ワーキンググループ（WG）を開催します。

今回は「コミュニケーション」をテーマとして、現在活用又は開発されているロボットの事例紹介や、話題提供を通して今後のロボット活用・開発について考えます。

- 日時 2023年**2月16**日(木) 午後1時～午後3時50分  
(オンラインでのライブ配信は午後1時～午後3時30分)
- 開催形式 会場:国立長寿医療研究センター 教育研修棟 1階 大研修室  
オンラインでのライブ配信(Cisco Webex Meetings を使用予定)
- 対象
  - ・介護ロボット等の開発に取り組んでいる又は関心のある方
  - ・介護ロボット等に興味のある医療・福祉関係者等
  - ・あいちロボット産業クラスター推進協議会の会員(新規会員募集中)  
※同協議会への入会方法は協議会 Web ページを御覧ください。  
<https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/jisedai/robot/entry.html>
- 定員 会場参加・オンライン参加 各50名(申込先着順)
- 参加費 無料(オンライン参加の場合、通信料は自己負担となります。)
- 座長 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典 氏
- 副座長 同センター 病院長、健康長寿支援ロボットセンター長 近藤 和泉 氏
- 内容

### (1)話題提供①

「〈弱いロボット〉概念に基づくインタラクシオンデザインとその応用」

国立大学法人豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 岡田 美智男 氏

### (2)コミュニケーションロボットの活用・開発事例の紹介

事例①:「介護ふれあいロボット『HIMBOT』の活用事例のご紹介」

株式会社ヒミカ 常務取締役 医療福祉本部長 林 晃弘 氏

医療法人安形医院 統括部長 安形 司 氏

事例②:「パートナーロボット『あるくメカトロウィーゴ』の介護現場での活用事例のご紹介」

株式会社リビングロボット 代表取締役社長 川内 康裕 氏

事例③:「コミュニケーションロボット『BOCCO emo』を活用した高齢者見守りシステムと自治体における実証事例のご紹介」

合同会社ネコリコ 営業企画部 マネージャー 實 祐介 氏

### (3)話題提供②

「高齢者の生活を支援するコミュニケーションロボット活用の可能性」

国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター

健康長寿テクノロジー応用研究室長 大高 恵莉 氏

### (4)交流会 ※会場参加者のみ。講演企業等の機器展示も行います。

## 申込方法 ※2023年2月13日(月) 締切

以下の Web ページへアクセスし、必要事項を入力してください。

URL <https://www.pref.aichi.jp/ques/questionnaire.php?openid=195>

(参加証は発行しません。定員超過により申込みをお断りする場合はメールで連絡します。)

※オンライン参加の場合、参加者には、申込締切後、メールにて参加者用 URL を案内します。



### <施設見学について>

WGの同日、国立長寿医療研究センター健康長寿支援ロボットセンターの「生活支援実証室」(介護現場を模したロボットや機器の実証スペース)の見学会を、以下の時間に行いますので、見学を御希望の方は合わせてお申込みください。

見学会の時間：午後0時35分から午後0時50分まで

※見学会の詳細は、別途、見学希望者宛てに連絡します。

## 会場アクセス

### ■ 会場

国立長寿医療研究センター 教育研修棟 1階 大研修室(大府市森岡町7-430)

### ■ 交通アクセス(公共交通機関でのご来場にご協力ください。)

<ご参考><https://www.ncgg.go.jp/ncgg-overview/access.html>

JR大府駅からは下記のバスを利用できます。

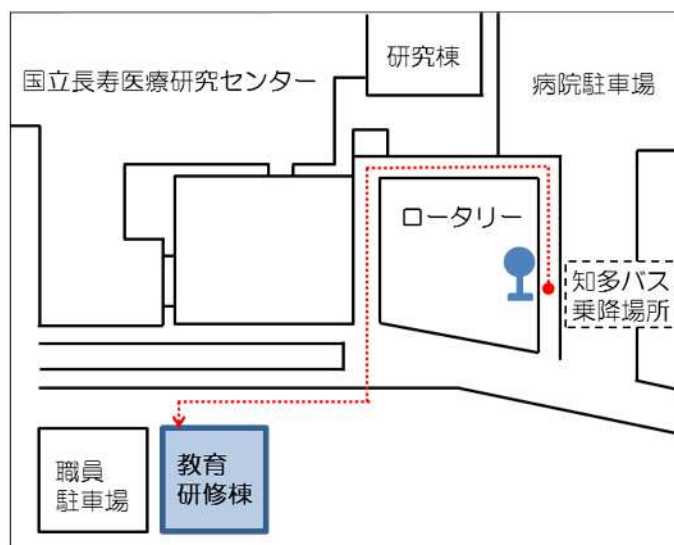
### ○ 知多バス(220円)…JR大府駅西口から「長寿医療研究センター」まで

《行き》

大府駅西口	⇒	長寿研
12時20分	⇒	12時29分

《帰り》

長寿研	⇒	大府駅西口
15時59分	⇒	16時20分



## 新型コロナウイルス感染防止対策

- 参加の際には、必ずマスクの着用をお願いします。
- 当日、発熱又は咳・全身痛等の症状がある場合、体調が優れない場合は参加をお控えください。
- 感染拡大の状況により、内容の変更、開催を延期又は中止することがあります。

その場合は、愛知県次世代産業室 Web ページ及び参加者宛てメールにてお知らせします。

### 【事務局(お問合せ先)】

愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 次世代産業室 ロボット産業グループ 担当：牧、村川  
電話：052-954-6352 メール：[jisedai@pref.aichi.lg.jp](mailto:jisedai@pref.aichi.lg.jp)

## 《ご参考》 「事例紹介」でご紹介するロボットの概要

### 「介護ふれあいロボット『HIMBOT(ヒムボット)』」 (株式会社ヒミカ)



老人ホームやデイサービス、グループホームなどの介護施設で、高齢者とふれあうコミュニケーションロボット(会話、レク、脳トレなど)です。利用者が積極的にロボットとふれあうことで元気になり、スタッフの介護負担や介護時間も軽減されます。

オプション機能として顔認証対応型の体温測定機器と連携し、利用者様の名前で体温を教えてください。さらに介護記録システムにも自動的に体温が書き込まれます。

WEB <http://products.himika.co.jp/himbot.html>

### 「見守りウィーゴ」 (株式会社リビングロボット)



見守りウィーゴは、新しい未来の新しいパートナーとして、スケジュール管理(声かけ)・音楽療法・双方向通信機能・脳トレ機能など、4つの機能でシニアの方の健康ライフを楽しくサポートします。お一人お一人のニーズに合わせてお使いいただける、手のひらサイズの多機能ロボットです。

(紹介動画)

<https://www.youtube.com/watch?v=valGmcGJTKM>

WEB ページ <https://livingrobot.co.jp/>

### 「BOCCO emo(ボッコ エモ) LTE モデル Powered by ネコリコ」 (合同会社ネコリコ)



高齢者の見守り機能を搭載したコミュニケーションロボットです。LTE通信内蔵のため、Wi-Fiがない環境でも使用でき、コンセントを挿すだけで面倒な設定は一切不要です。見守る側もスマホに専用アプリをダウンロードするだけで始められます。

大きく4つの見守り機能を搭載。アプリから送ったテキストを遠くに離れたemoが読み上げ、emoに話しかけるだけでアプリに音声が届きます。他にも、内蔵する人感センサで家族を長時間検知できない際にはアプリにお知らせ、帰宅を検知した際には「おかえり」と声掛けしてくれます。また、付属の環境センサで部屋の状態を見守り。熱中症や加湿など日常の注意を呼び掛け、アプリにも通知します。

WEB <https://www.necolico.co.jp/emo/>